

特別支援学校高等部 家庭

解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2**～大問 **5** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 特別支援教育に関連する法令や近年の動向について、次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、障害者基本法(平成25年6月26日改正)の第三条の条文である。空欄A～Cに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第三条 第一条に規定する社会の実現は、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを前提としつつ、次に掲げる事項を旨として図られなければならない。

- 一 全て障害者は、として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること。
- 二 全て障害者は、可能な限り、どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会においてすることを妨げられないこと。
- 三 全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、のための手段についての選択の機会の拡大が図られること。

	A	B	C
1	社会を構成する一員	他の人々と共生	情報の収集又は整理
2	地域を構成する一員	自立して生活	情報の収集又は整理
3	社会を構成する一員	他の人々と共生	情報の取得又は利用
4	社会を構成する一員	自立して生活	情報の取得又は利用
5	地域を構成する一員	自立して生活	情報の取得又は利用

(2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針」(平成27年2月24日閣議決定)に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 行政機関等においては、その事務・事業の公共性に鑑み、障がい者差別の解消に率先して取り組む主体として、不当な差別的取扱いの禁止が法的義務とされているが、事業者については努力義務である。

イ 障がい者の事実上の平等を促進し、又は達成するために必要な特別の措置、例えば、障がい者を障がい者でない者と比べて優遇する取扱い(いわゆる積極的改善措置)については、不当な差別的取扱いには当たらない。

ウ 対象となる障がい者は、いわゆる障害者手帳を所持した、身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む)、その他の心身の機能の障がいがある者であって、障がい及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものである。

エ 障がい者差別の解消を効果的に推進するには、障がい者及びその家族その他の関係者からの相談等に的確に応じることが必要であり、国及び地方公共団体においては、相談窓口を明確にするとともに、相談や紛争解決などに対応する職員の業務の明確化・専門性の向上などを図ることであり、体制を整備するものとする。

- 1 アーウ
- 2 アーイ
- 3 アーエ
- 4 イーウ
- 5 イーエ

(3) 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」(平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 下の文は、「合理的配慮」の決定に当たっての基本的考え方について述べたものである。空欄A～Dに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

「合理的配慮」を行う前提として、学校教育に求めるものを以下のとおり整理した。

- (ア) 障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び共に育つ理念を共有する教育
- (イ) 一人一人の状態を把握し、の最大限の伸長を図る教育(確かな学力の育成を含む)
- (ウ) 健康状態の維持・改善を図り、をつくる教育
- (エ) コミュニケーション及び人との関わりを広げる教育
- (オ) を深め自立し社会参加することを目指した教育
- (カ) を高めていく教育

	A	B	C	D
1	子どもの個性	生涯にわたる健康の基盤	他者理解	自己肯定感
2	一人一人の能力	生涯にわたる健康の基盤	他者理解	自己肯定感
3	子どもの個性	学齢期における健やかな体	自己理解	自己有用感
4	一人一人の能力	学齢期における健やかな体	他者理解	自己有用感
5	一人一人の能力	生涯にわたる健康の基盤	自己理解	自己肯定感

- ② 下の文は、「多様な学びの場の整備と学校間連携等の推進」について述べたものの一部である。下線部ア～オの語句について正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校は、小・中学校等の教員への支援機能、特別支援教育に関する_ア教材・教具提供機能、障害のある児童生徒等への指導・支援機能、関係機関等との_イ連絡・調整機能、小・中学校等の教員に対する研修協力機能、障害のある児童生徒等への施設設備等の提供機能といった_ウセンター的機能を有している。今後、域内の教育資源の組合せ（スクールクラスター）の中で_エネットワーク機能を発揮し、_オ通級による指導など発達障害をはじめとする障害のある児童生徒等への指導・支援機能を拡充するなど、インクルーシブ教育システムの中で重要な役割を果たすことが求められる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	○	○	×	○
2	○	○	×	×	×
3	○	×	○	○	○
4	×	○	×	○	×
5	○	×	○	×	○

(4) 学校教育法（平成29年5月改正）又は学校教育法施行規則（平成30年3月改正）における特別支援学校に関する記述のうち、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 特別支援学校では、特別の事情のあるときを除いて、スクールバスを運行しなければならない。
- 2 特別支援学校には、高等部を置かなければならない。
- 3 特別支援学校の高等部の同時に授業を受ける一学級の生徒数は、三十人以下を標準とする。
- 4 特別支援学校の小学部、中学部又は高等部の学級は、特別の事情のある場合を除いては、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の別ごとに編制するものとする。
- 5 特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、国語と算数（数学）のみ、合わせて授業を行うことができる。

(5) 学校教育法施行令（平成29年9月改正）第二十二条の三で定める視覚障害者等の障害の程度について、空欄A～Eに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="A"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="B"/> デシベル以上のもので、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達が遅延があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻りに援助を必要とする程度のもの 二 知的発達遅延の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="C"/> が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が <input type="text" value="D"/> によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が <input type="text" value="E"/> 医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が <input type="text" value="E"/> 生活規制を必要とする程度のもの

	A	B	C	D	E
1	○・三	六〇	社会生活への適応	補装具の使用	継続して
2	○・一	六〇	環境の把握	補装具の使用	おおむね六ヶ月以上の
3	○・三	八〇	社会生活への適応	適切な介助	おおむね六ヶ月以上の
4	○・三	六〇	環境の把握	補装具の使用	おおむね六ヶ月以上の
5	○・一	八〇	社会生活への適応	適切な介助	継続して

2 衣生活について、下の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 下のア～オは、繊維の名称である。合成繊維の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

ア キュプラ イ ナイロン ウ ポリエステル エ アセテート オ レーヨン

1 ア、エ 2 イ、オ 3 イ、ウ 4 エ、オ 5 ア、ウ

(2) 下のア～オは、衣料用洗剤に含まれる主な成分の働きを説明したものである。それぞれの成分の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 汚れの色素を酸化して、無色の物質に変える。

イ 洗濯物を濡らしやすくする。布から汚れを引き離す。布への汚れの再付着を抑える。

ウ 油汚れを石けんに変えて除去する。

エ 紫外線を吸収して、青～青紫色に発色し、黄ばんだ布を白く見せる。

オ 汚れや繊維を分解して、汚れを取れやすくする。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	蛍光増白剤	漂白剤	酵素	アルカリ剤	界面活性剤
2	酵素	界面活性剤	アルカリ剤	蛍光増白剤	漂白剤
3	蛍光増白剤	漂白剤	界面活性剤	アルカリ剤	酵素
4	漂白剤	蛍光増白剤	酵素	アルカリ剤	界面活性剤
5	漂白剤	界面活性剤	アルカリ剤	蛍光増白剤	酵素

(3) 下の図ア～オは、手縫いの縫い方を示している。それぞれの名称の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：「文化ファッション大系 服飾造形講座①」

『服飾造形の基礎』

文化服装学院編 文化学園教科書出版部

136・140・141・142 ページ

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	本返し縫い	半返し縫い	千鳥がけ	星止め	まつり縫い
2	星止め	まつり縫い	本返し縫い	半返し縫い	千鳥がけ
3	半返し縫い	千鳥がけ	本返し縫い	まつり縫い	星止め
4	本返し縫い	千鳥がけ	半返し縫い	星止め	まつり縫い
5	星止め	半返し縫い	千鳥がけ	本返し縫い	まつり縫い

(4) 下のア～オは、被服製作における布の立体化と造形の工夫について説明したものである。それぞれの名称の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

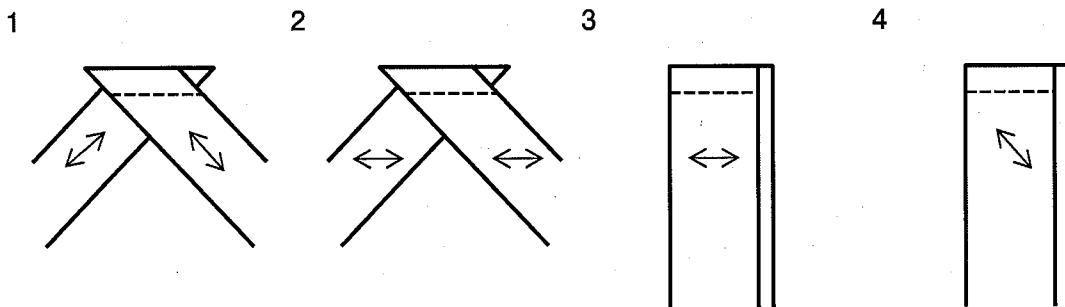
解答番号は

- ア アイロン操作で布地を引張り、せん断変形させ、人体の凹部に沿わせる。
- イ 糸を使って布にしわをよせ、布の表面に波打つような細かな凹凸をつける。
- ウ 布地を縫い縮めたり、アイロン、プレスを用いて布に膨らみをもたせて人体の凸部に沿わせる。
- エ 布の一部をつまんで縫い消し、平面的な布を立体である身体に適合させる。
- オ 1枚の長い布で丸みのある身体を包み、布地が自重で垂下したときに優美な垂れができる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	伸ばし	ギャザー	いせ込み	ダーツ	ドレープ
2	いせ込み	伸ばし	ギャザー	ダーツ	ドレープ
3	いせ込み	ギャザー	ダーツ	ドレープ	伸ばし
4	伸ばし	いせ込み	ギャザー	ドレープ	ダーツ
5	ドレープ	いせ込み	ギャザー	ダーツ	伸ばし

(5) バイアステープのはぎ方として最も適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

解答番号は



※布の重ね方は、全て中表である。↔は地の目線である。

3 保育について、下の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 下の表は、乳幼児の運動機能について、それが可能なものの割合を年月齢別に示したものである。
エに該当するものとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

一般調査による乳幼児の運動機能通過率

(%)

年月齢	運動機能	ア	イ	ウ	エ	オ	ひとり歩き
2月～3月未満		11.7	1.1				
3～4		63.0	14.4				
4～5		93.8	52.7	0.5	0.9		
5～6		98.7	86.6	7.7	5.5	0.5	
6～7		99.5	95.8	33.6	22.6	9.0	
7～8			99.2	68.1	51.1	33.6	
8～9			98.0	86.3	75.4	57.4	1.0
9～10				96.1	90.3	80.5	4.9
10～11				97.5	93.5	89.6	11.2
11～12				98.1	95.8	91.6	35.8
1年0～1月未満				99.6	96.9	97.3	49.3
1～2					97.2	96.7	71.4
2～3					98.9	99.5	81.1
3～4					99.4		92.6
4～5					99.5		100.0

厚生労働省雇用均等・児童家庭局「平成22年 乳幼児身体発育調査報告書」を基に作成
※平成17年国勢調査区のうち層化無作為抽出した3,000地区内の調査実施日において生後
14日以上2歳未満の乳幼児を調査の対象としている。

- 1 つかまり立ち 2 ねがえり 3 首のすわり 4 はいはい 5 ひとりすわり

(2) 下のア～オは、乳幼児の身体的発育・発達と生理的特徴を説明したものである。誤っているものの組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- ア 乳児の呼吸は成人に比べると、1分間に約30～40回で速く深い呼吸である。
- イ 脈拍は年齢が幼いほど多くなる。
- ウ 出生時の平均身長は約50cmで、生後1年間で1.5倍の約75cmになる。
- エ 出生時の平均体重は約3kgで、生後1年間で2倍の約6kgになる。
- オ 生後6か月頃から乳歯が生え始め、3歳頃までには上下20本が生えそろう。

- 1 イ、ウ 2 ア、エ 3 ア、オ 4 ウ、エ 5 イ、オ

(3) 下の文章は、昭和26（1951）年5月5日に制定された児童憲章の一部である。空欄ア～エに適する語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

われらは、（ア）の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるために、この憲章を定める。
 児童は、（イ）として尊ばれる。
 児童は、（ウ）として重んぜられる。
 児童は、よい（エ）の中で育てられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	児童福祉法	社会の一員	人	環境
2	児童の権利に関する条約	社会の一員	人	家庭
3	日本国憲法	人	社会の一員	環境
4	児童福祉法	人	社会の一員	生活
5	日本国憲法	社会の一員	人	教育

(4) 下のア、イは、厚生労働省の子育て支援事業について説明したものである。それぞれの名称の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。

イ 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。

	ア	イ
1	ファミリー・サポート・センター事業	放課後児童クラブ
2	地域子育て支援拠点事業	放課後子ども教室
3	一時預かり事業	放課後児童クラブ
4	ファミリー・サポート・センター事業	放課後子ども教室
5	一時預かり事業	放課後子ども教室

(3) 住まいの開口部の面積に関する文章について、空欄ア～エに適する語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

建築基準法（平成28年9月施行）第28条では、建築物の居室について、窓その他の開口部の面積が定められており、（ア）のためには、その居室の（イ）面積に対して、（ウ）にあっては7分の1以上としなければならない。また、（エ）のためには、その居室の（イ）面積に対して、20分の1以上としなければならない、とされている。

	ア	イ	ウ	エ
1	換気	床	住宅	採光
2	換気	壁	学校	採光
3	採光	壁	住宅	換気
4	採光	床	住宅	換気
5	換気	床	学校	採光

(4) 次の①②は階段に関する法令の条文の一部である。空欄ア～エに適する数字の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

①「建築基準法施行令」（平成30年4月施行）

第23条 住宅の階段（共同住宅の共用の階段を除く。）の蹴上げは（ア）センチメートル以下、踏面は（イ）センチメートル以上とすることができる。

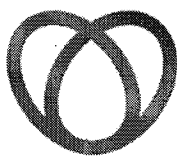
②「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（平成29年6月施行）第17条に基づく、「高齢者、障害者等が円滑に利用できるようにするために誘導すべき建築物特定施設の構造及び配置に関する基準を定める省令」（平成18年12月施行）

第4条 多数の者が利用する階段は、次に掲げるものとしなければならない。
 二 けあげの寸法は、（ウ）センチメートル以下とすること。
 三 踏面の寸法は、（エ）センチメートル以上とすること。

	ア	イ	ウ	エ
1	15	16	30	23
2	30	23	15	16
3	23	15	16	30
4	16	30	23	15
5	23	16	30	15

(5) 下の表示のうち、国が定める省エネ基準に適合した建築物であることを示す「省エネ基準適合認定マーク」として、最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

1



2



3



4



5



(6) 立面図について説明した文章として最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 部屋の配置を床からある高さで建築物を水平に切断して上から見た図。
- 2 建物の外観。通常は東、西、南、北の4面をその方向から見える外面すべて描いた図。
- 3 敷地と建物の位置関係を平面的に示した図。
- 4 建物を垂直に切断し、横から見た図。
- 5 建物の各部の高さ等を示した垂直方向の図。

(7) 下の説明文は、ある住まい方について述べたものである。最も適切なものを次の1～5から一つ選べ。解答番号は

プライバシーが確保された専用の住まいとは別に、共同の食堂や台所などをもち、生活の一部を共同化している集合住宅。

- | | | |
|-------------|--------------|-----------|
| 1 コレクティブハウス | 2 コーポラティブハウス | 3 スマートハウス |
| 4 テラスハウス | 5 シックハウス | |

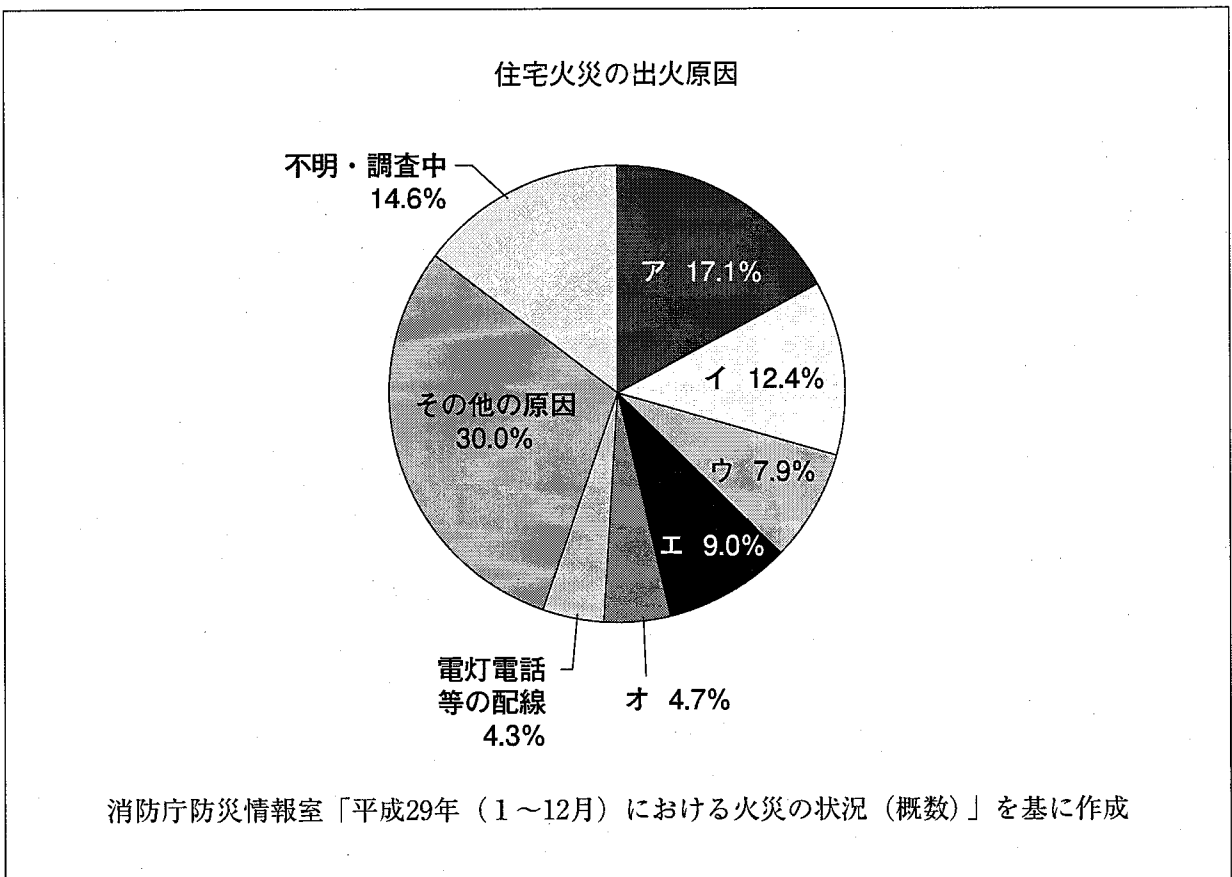
(8) コンポストに関する文章として最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 太陽の光エネルギーを吸収して電気に変える。
- 2 断熱効果をよくするために、木や草花を活用する。
- 3 雨水がしみこむ素材で舗装をする。
- 4 雨水をため、トイレの浄化水として利用する。
- 5 家庭から出る生ゴミを堆肥に変えて再利用する。

(9) 下のグラフは、平成29年（1～12月）における全国の住宅火災の出火原因の構成比を示したものである。アに該当するものとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は



- 1 こんろ 2 ストープ 3 たばこ 4 配線器具 5 放火

5 食生活について、下の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 下の献立表は、シュークリームとカスタードクリームの材料と分量(6～7個分)を示したものである。次のア～オの問いに答えよ。

シュー生地		カスタードクリーム	
水	90 g	卵黄	45 g (約3個分)
バター(有塩)	50 g	砂糖	80 g
薄力粉	50 g	薄力粉	30 g
卵	100 g (約2個)	牛乳	330 mL
		バニラエッセンス	2 g
		グランマルニエ	15 g

ア シュー生地を調理する際、薄力粉を加えるタイミングは、どの材料がどのような状態になった時か具体的に答えよ。

イ 可食部100gに含まれる鶏卵の全卵(生)について、日本食品標準成分表2015年版(七訂)に「0」と表記されているビタミンはどれか。次の①～⑤から一つ選び、その番号を答えよ。

- ① ビタミンA ② ビタミンB₁ ③ ビタミンB₂ ④ ビタミンC ⑤ ビタミンD

ウ 卵黄に含まれ、乳化作用があるリン脂質を何というか答えよ。

エ 砂糖の調理性について説明した文章として誤っているものはどれか。次の①～⑤から一つ選び、その番号を答えよ。

- ① たんぱく質と水分を結びつけることで、熱変性を抑制し硬くなるのを防ぐ。
 ② 糊化したでんぷんの老化を遅らせ、やわらかさを保つことができる。
 ③ グリアジンの粘性が増し、グルテンの網目構造がち密となり生地の粘弾性が安定する。
 ④ 浸透圧により食品から水分を奪うため、微生物が繁殖するのを防ぐ。
 ⑤ 果物のペクチンを網目のようにつなぎ、その中に水分を抱え込みゼリー化を促進する。

オ 牛乳は加熱すると60℃ぐらいから皮膜ができる変化が起こる。この変化を何というか答えよ。また、変化をもたらす主な2つの成分を挙げながら、その変化の過程について具体的に説明せよ。

(2) 下のア～オは、寒天とゼラチンの特徴について説明したものである。下線部が正しければ○を、誤っていれば正しい語句を記せ。

ア 寒天は紅藻類のてんぐさ、おごのりなどを煮出して作られたもので、主成分はラクトースが多数結合した多糖類である。

イ 寒天は、濃度が高く、加熱時間が長く、放置温度が低いほど離水（離漿）量が少ない。

ウ パインアップルを生のままゼラチンゼリーに使用すると、たんぱく質分解酵素のリパーゼがゼラチンを分解しゲル化しない。

エ ゼラチンゼリーは寒天ゼリーよりも融解温度が高く付着性が強いので、2層ゼリーなどを作るのに適している。

オ ゼラチンは、動物の骨や皮などを構成する硬質たんぱく質であるコラーゲンを熱湯で処理して得られる誘導たんぱく質である。

(3) 安全で環境に配慮した食生活に関する文章を読んで、次の問いに答えよ。

私たちは、世界中から届けられる食品を季節にかかわらず得ることができる。しかし、生産から輸送、消費、廃棄の過程で多くのエネルギーが必要であり、環境への負荷が大きい。また、(a)ポストハーベスト等に対して不安を抱く消費者も少なくない。

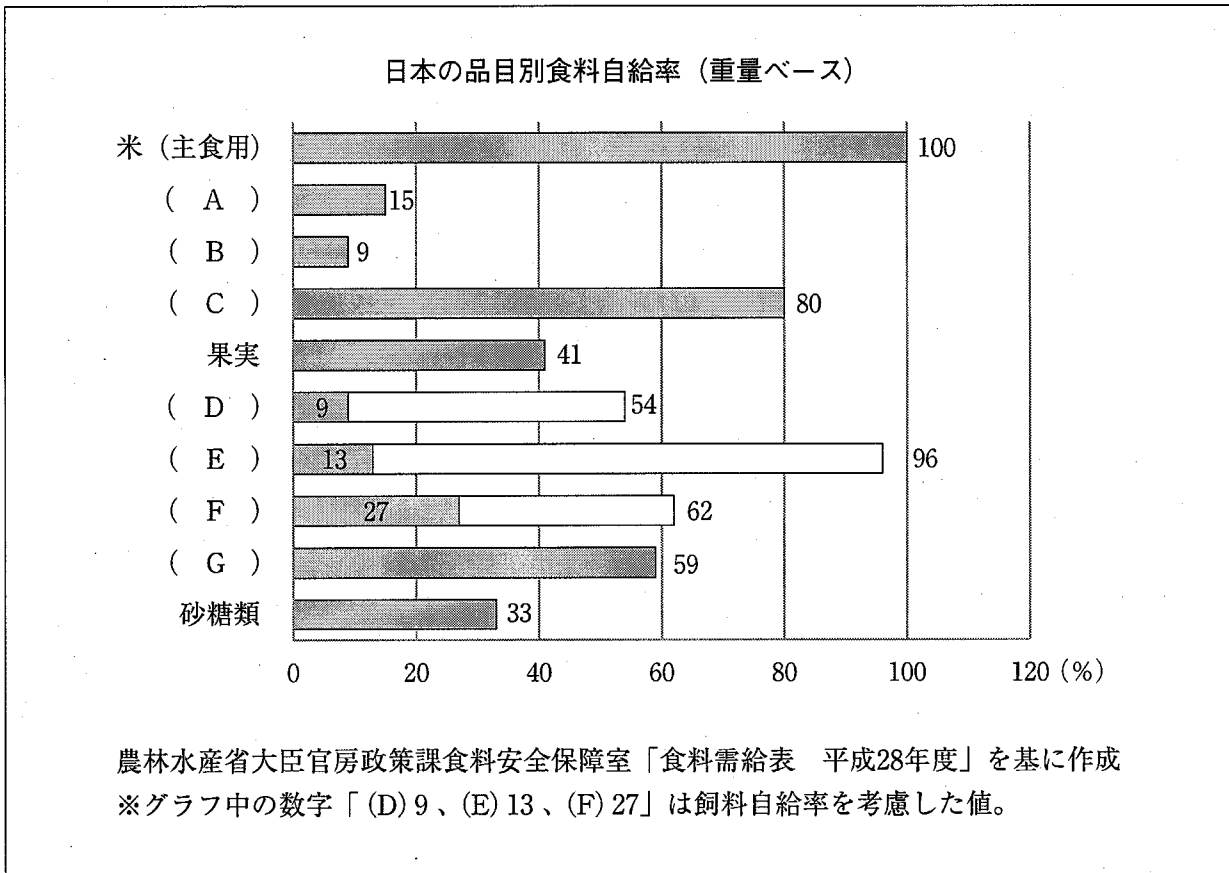
そこで、地元でとれた農作物や畜産物、魚介類などをその地域で消費する地産地消という考え方が注目されている。地産地消により、食料の輸送距離が短くなり、二酸化炭素の排出量を減らすことができるため、環境への負荷を低減できる。また、(b)生産、加工、流通等の各段階で商品の入荷と出荷に関する記録等を作成・保存することで食品の移動を把握することが容易となるため、消費者が安心して食品を得ることができる。

このように、国内産の食品の消費量が増加すれば(c)食料自給率の向上にもつながる。

ア 下線部(a)のポストハーベストとは何か、その目的とともに具体的に説明せよ。

イ 下線部(b)で説明している仕組みのことを何というか答えよ。

ウ 下線部(c)について、下のグラフは平成27年度の日本の品目別食料自給率を示したものである。空欄A～Gにあてはまる品目は肉類（鯨肉を除く）、鶏卵、牛乳・乳製品、魚介類（うち食用）、小麦、豆類、野菜である。豆類、鶏卵の組合せとして最も適切なものを次の①～⑤から一つ選び、その番号を答えよ。



- ① A、C ② B、E ③ B、D ④ C、F ⑤ G、E

